

横 浜 南 シ ニ ア 杯 大 会 規 定

1. ベンチサイドは、抽選番号の若い方を一塁側とする。
2. 試合開始前のシートノックは 5 分以内とするが、試合運行上中止することもある。
※シートノックは主催者判断により試合開始時間に余裕がある場合のみ行います。
3. 各試合は 7 回戦とし 3 回終了時 10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
※決勝戦ではコールドゲームは適用しない。
4. 各試合は 1 時間 20 分を過ぎると新しいイニングには入らない。
5. 7 回を終えて同点又は (4.) で同点の場合は 1 イニングのみ特別延長を行う。
※1 アウト・1 塁・3 塁で打順は前のイニングからの継続とする。
※特別延長を終えて同点の場合は抽選で勝敗を決める。
※決勝戦は時間制限無しの 7 回戦とし最大 9 回までの延長戦を行う。決着がつかない場合は上記特別延長ルールにて決着がつくまで行う。なお、決勝戦の投手の投球回数は最大 9 イニングとし 1 回に 1 球でも投球すれば 1 イニングとカウントする。特別延長も同様とする。
6. 雨その他の理由により試合続行不可能な場合、5 回終了をもって正式試合とする。
7. 選手は打者・走者・コーチャーともに危険防止のためヘルメットを装着のこと。
8. 捕手はマスク・ヘルメット及び防具を着用の上投球練習を行うこと。
※ブルペンでの投球練習も同様とし、ブルペン使用時は指導者 1 名を防球見張りにつける事。
※次試合のブルペン使用は 5 回終了又は試合開始予定 30 分前からとする。
9. 各チームは必ず成人である責任者が引率し、大会中全ての選手の行動及び応援に対し責任を負うこととする。
10. 各チームは試合を早めるよう配慮し、攻守交替は駆け足で行い、抗議は必ず監督とし、監督不在の場合はコーチが代行する。抗議については公認野球規則による。
11. 次打者は、自軍ベンチ側のウエィティングサークル内に低い姿勢で待ち、守備を妨害するような行為は行わないこと。※サークル内での素振りは禁止
12. 個人攻撃の野次は、ベンチ内の選手、応援者も禁止する。
13. 安全を守るため、故意に相手方の選手を傷つけるような行為があった場合は、その選手を退場させることもある。
14. 監督又はコーチが投手のもとへいける回数を制限するため、公認野球規則 8,06 を適用する。(2 回)
15. 移動ベースについて、公認野球規則 7,08 (C 付) を適用する。
16. 上記以外の項目は当該審判員の判断によりすべて当該年度公認野球規則に準じて行う。

日本リトルシニア本部審判員
関東連盟技術委員
手嶋 里嗣